

学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）

第13回シンポジウム開催報告

飯野孝浩

東京大学情報基盤センター

1. 概要

7月8日・9日の2日間に渡って、学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点（JHPCN）の第13回シンポジウムがオンラインにて実施された。本シンポジウムに先立ち、シンポジウムの目的や形式等を議論するWGが2020年度に2回実施され、ダブルトラックとして発表・議論の時間を確保すること、参加者間のネットワーキングのための施策を試行するなどの新機軸が決定されており、今回は実施形式を大きく変えての開催となった。新型コロナウイルス感染症のまん延のため、前年度に引き続いてオンラインでの開催となったが、前年度・今年度の課題代表者による発表は全てプログラムされ、新たに基調講演や、新規計算機資源の紹介等が企画された。基調講演では、「The future of medicine in the era of big data and AI」と題して、医療AI研究の世界的権威であるDaniel Rückert博士（ミュンヘン工科大学）の講演を実現した。参加登録者は約350名であり、オフライン実施であった例年の典型的な人数（約200名）を大きく超える人数であった。2.に当日のプログラムを示す。詳細はシンポジウムのウェブサイト(<https://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/sympo/13th>)を参照されたい。

2. プログラム

7月8日（木）

- 10:00～10:10 主催者挨拶：総括拠点長 田浦 健次郎（東京大学 情報基盤センター長 教授）
- 10:10～10:20 来賓挨拶：宅間 裕子 様（文部科学省 計算科学技術推進室長）
- 10:20～12:00 オーラルセッション1（A会場・B会場）
- 13:20～14:00 新規提供計算資源紹介：東北大学，東京大学，大阪大学（A会場）
- 14:00～17:40 オーラルセッション2（A会場・B会場）
- 18:00～18:50 基調講演（A会場）

7月9日（金）

- 10:00～12:00 オーラルセッション3（A会場・B会場）
- 13:00～13:30 ポスターセッション コアタイムA（A会場・B会場）
- 13:30～14:00 ポスターセッション コアタイムB（A会場・B会場）
- 14:20～17:40 オーラルセッション4（A会場・B会場）
- 17:40～18:00 閉会挨拶：共同研究課題審査委員長 片桐 孝洋（名古屋大学 情報基盤センター教授）